学会名
演題名
発表者
内容
○小林　誠(学), 日野 裕
アルミニウム合金ハニカム構造体の曲げ加工において、加工の際のスプリングバックの大きさについて検討し、考察した。試
験片厚さが薄く、支点間距離が広く、圧子半径が小さいほどスプリングバック量は大きくなる。
機械・精密システム工学科　学会発表
【発表者について】○は発表者
日本機械学会関東支部第21期総会・講演会
アルミニウム合金ハニカム構造体の曲げ加工特性